

b 個人カードと生徒理解

事前調査やよさのアンケート結果などを整理し、効果的に指導援助を行うための個々に対する指導方針を検討した。

ア 個人カード作成の意義

性格行動面や特別活動など、既存の目的別個人資料を、「開発的な指導援助」のための資料に整理し、新たな資料収集により、その補充に努めた。

記入項目は固定したが、内容は自由にいつでも追記できるようにしたり、指導援助の方針を個別に記入できるようにした。また、個人カードの作成過程では、担任が、常に多面的・客観的に生徒を見るという基本的な姿勢を維持することができた。

イ 個人カードの記入例

表III-3は、事前調査で下位群に属していたR子の個人カードである。アンケート実施直後に記入したものであるが、概要が分かる程度に内容を抜粋してある。

また、事後調査の結果は、事例を紹介するにあたって、指導後に書き入れたものである。

表III-3 個人カード

番号	2434	氏名	○○○R子	性別	女	備考	
日 常		学習態度は真剣でまじめに取り組んでいる。(7/18)					
テ スト		成績順位=女子で10番(1学期中間)					
学力検査		5教科平均学力偏差値5.8(理数系がやや低い。)					
性 格		静かでやさしい。甘えたところあり。(7/18)					
行 動		身体面の違和感、不全感、情緒面の不安傾向が強い。親子間の意志疎通に問題。どんなものでも自信の持てるものを見つけてやる必要性を感じる。(8/22)					
ソシオ		友達はあまり多い方ではない。(選択4、被選択3、相互選択1、排斥4、被排斥1、相互排斥0)(5/14)					
日 常		総合得点は予想以上に高くベスト10に選択されている。					
友達の 良さ		清掃態度、言葉遣い、規則の尊守ではベスト10。(6月)					
遅刻早退 欠席		明るい雰囲気、落ち着いた行動のみが、下位から10位以内					
学 年		問題にする事項は見当らない。					
級 生							
徒 会							
ク ラ ブ							
開 発 的							
指 導 援 助		他の生徒からどのような評価を受けているかを気にする。					
問 題 に し		学習面ではコツコツと努力するため上位にいるが、生活面では自信のない態度が目立ち、自己イメージは悪いようだ。					
た い 事 項		↓					
		日常の言葉かけ、よさのアンケートをもとにした教育相談、係活動に対する援助による自信の回復					
		(9/25)					

c 個別教育相談の実施

学級の全員に対して、個に応じた意図的な言葉かけとともに、個別の教育相談を実施した。

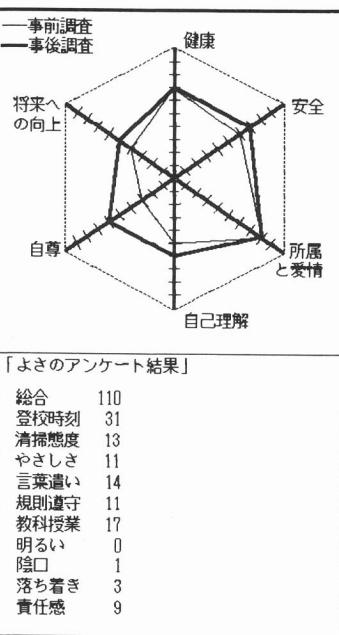
R子に対しても、「グループ学習でのポイントを押えた発言、○○先生が心してたよ。」「持ってきててくれた鉢花のおかげで理科室が明るくなったり、ありがとう。」などの言葉を掛けた。

10月上旬、R子の教育相談が行われた。R子は、緊張した面持ちで理科準備室に入ってきた。「アンケート結果すごいね。みんなからの認めは学級でも多い方だよ。本当にすごいね。」

「えっ！ 本ですか？」 R子は、今までの自分は、みんなから嫌われていると思っていたことや、暗い性格で悩んでいたことなどを話しながらも、明るい表情であった。「卒業したら、○○女子高に入学したいなあ。」 R子は、初めて進路について話してくれた。

「すごいね。今からちゃんと自分の進路希望を持っているんだね。すばらしいことだよ。」

R子の自信のない言動には、できるだけ肯定的な解釈を返すように努めた。



* 実際のカードは余白が多く自由に記入できるものであるが、抜粋して紹介した。事後調査結果は、後で追記した。